

製品名: VASP マウスモノクローナル抗体**カタログ番号: AMM82731**

研究使用のみ

概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	WB,IHC,ICC,ELISA,FC
反応性	人間、猿
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05%アジ化ナトリウムを含む PBS 中の精製抗体
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:200-1:1000,ICC 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000,FC 1:200-1:400
分子量	39.8kDa

抗原情報

遺伝子名	VASP
別名	VASP
遺伝子 ID	7408.0
SwissProt ID	P50552
免疫原	大腸菌で発現したヒト VASP (AA: 1-380) の精製された組み換え断片。

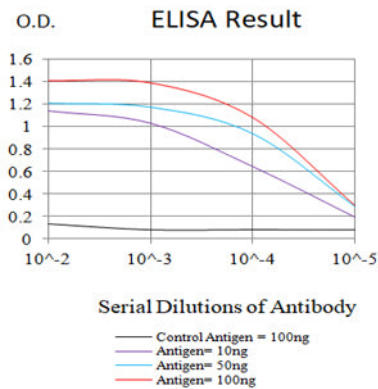
背景

血管拡張刺激リン酸化タンパク質 (VASP) は、Ena-VASP タンパク質ファミリーのメンバーです。Ena-VASP ファミリーのメンバーは、E/DFPPPPXD/E モチーフを含むタンパク質と結合し、Ena-VASP タンパク質を接着斑に誘導する EHV1 N 末端ドメインを有しま

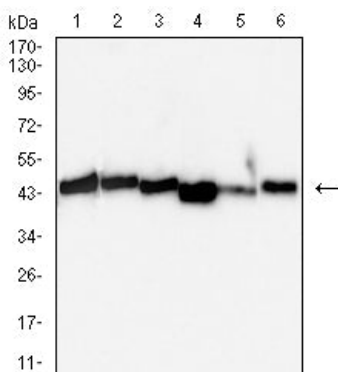
す。タンパク質の中央領域には、SH3 および WW ドメインを含むタンパク質と結合するプロリンリッチドメインが存在します。C 末端の EVH2 ドメインは四量体形成を媒介し、G および F アクチンの両方に結合します。VASP はフィラメント状アクチンの形成に関連し、細胞接着と運動において広範な役割を果たしていると考えられます。VASP は、インテグリンと細胞外マトリックスの相互作用を制御する細胞内シグナル伝達経路にも関与している可能性があります。VASP は、環状ヌクレオチド依存性キナーゼ PKA および PKG によって制御されます。[RefSeq 提供、2008 年 7 月]

研究分野

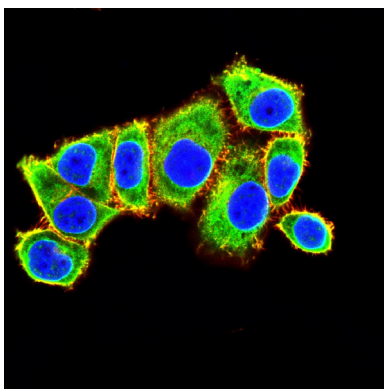
画像データ



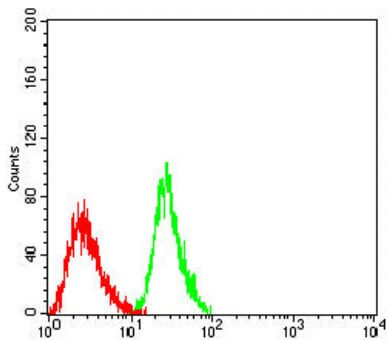
黒線: コントロール抗原 (100 ng) ; 紫線: 抗原 (10 ng) ; 青線: 抗原 (50 ng) ; 赤線: 抗原 (100 ng)



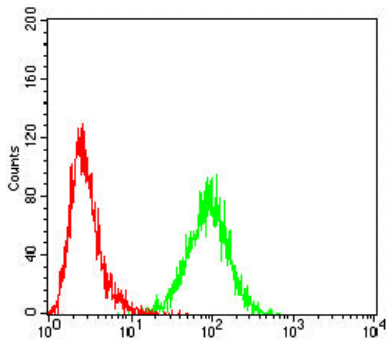
THP-1 (1)、HepG2 (2)、Hela (3)、HT-29 (4)、MCF-7 (5)、A549 (6)、および COS-7 (7) 細胞溶解物に対する VASP マウス mAb を使用したウエスタンブロット解析。



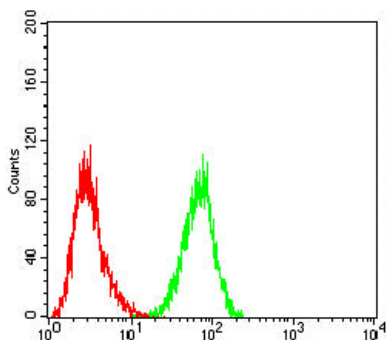
VASP マウス mAb (緑) を用いた Hela 細胞の免疫蛍光染色。青: DRAQ5 蛍光 DNA 色素。赤: Alexa Fluor-555 ファロイジンで標識されたアクチンフィラメント。



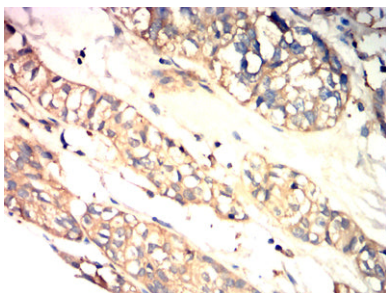
VASP マウス mAb (緑) とネガティブ コントロール (赤) を使用した MOLT4 細胞のフローサイトメトリー分析。



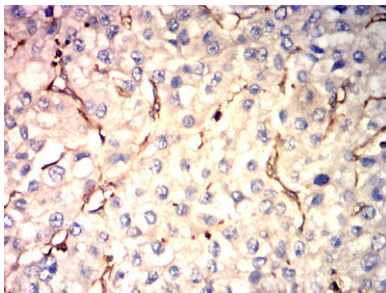
VASP マウス mAb (緑) とネガティブ コントロール (赤) を使用した THP-1 細胞のフローサイトメトリー分析。



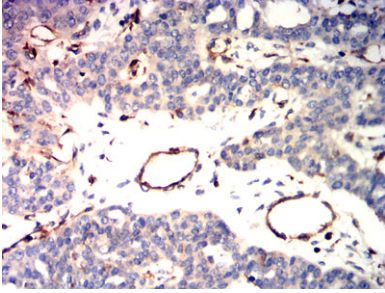
VASP マウス mAb (緑) とネガティブ コントロール (赤) を使用した HL-60 細胞のフローサイトメトリー分析。



VASP マウス mAb と DAB 染色を使用したパラフィン包埋ヒト膀胱癌組織の免疫組織化学分析。



VASP マウス mAb と DAB 染色を使用したパラフィン包埋ヒト肝臓癌組織の免疫組織化学分析。



VASP マウス mAb と DAB 染色を使用したパラフィン包埋ヒト卵巣癌組織の免疫組織化学分析。